



不審者対策避難訓練を4日に実施

白水台地の陽光「さん」



先週もお伝えしたとおり「子どもたちの安心・安全」が最優先ですので、毎年、大津警察署の竹下さんに講師として来てもらい、講話・ビデオ視聴・実施訓練等の避難訓練を行っています。その中で、子どもたちには、次のような話をされました。

※「ひまわり」を覚えておきましょう！

ひ：ひとりにならない、一緒に帰る。2人以上で遊ぶ。

ま：まわりから見えにくいところ、トイレ、生け垣が高いところ、駐車場に注意。

わ：わかれ道、交差点に注意。

り：りようされてない所、空き地、空き家に注意。

また、いつでもどこでも油断しない、周りをよく見渡す、自分の近くにだれか来ていないか感じる、スマホに夢中にならない。大声で助けを呼ぶこと。

このような話をされました。

職員に対しては次のような指導がありました。

※不審者を校舎に入れないことが大切である。そのために、

①校舎外で早く発見する。②早く声をかける。③早く判別する。④早くみんなに知らせる。⑤早くみんなに対応する。このようなことを心がけておくこと。

また、さすまたは、相手を捕まえるためのものではなく、自分の身を守るための物であり、間合いを取るための道具、時間をかせぐための道具であること。さすまたは、相手の周りを囲んで一緒に合わせて使うこと。さすまたが近くにはない場合には、椅子やモップを使うと良いこと等について、具体的に指導をしていただきました。職員も子どもたちも学ぶべき点がたくさんありました。



縦割り班活動(サウスくんデイ)を3日に実施

授業の楽しさ・難しさ

本校では毎月1回、給食、昼休みの遊び、掃除を縦割り活動で行っています。83名の児童を6班に分け、6年生のリーダーを中心に活動します。給食では、日頃味わえない雰囲気の中、楽しそうに食べていました。昼休みは、運動場では鬼ごっこ、体育館では、フルーツバスケット的なゲームがあり、みんな夢中で遊んでいました。掃除では、上学年が

お手本になり、協力してできました。このような体験をとおして、思いやりや高学年としての自覚が育っています。



菊陽南小学校は、職員数が少ないため、校長先生の出番もたくさんあります。先日は、職員の出張が多かったため、「校長先生、体育の授業をしてもらえないでしょうか。」というお願いがあり、3・4年生の鉄棒の授業を行いました。10年ぶりぐらいの体育の授業ということで、学習指導要領や体育指導の手引きを見ながら、ねらいを明確にして行いましたが、指導場面では、思うようにいきませんでした。自分自身の体力と指導力の衰えを感じました。ただ、子どもと触れあう楽しさを味わえたことと、日々の職員の苦労を肌で感じる事ができたのは良かったです。

これからも職員の日々の努力を励ましていきたいと思ひます。

